

# 中高一貫教育だより

～広尾の子どもは広尾で育てる～

第53号

平成31年  
3月号

発行者  
広尾町中高一貫教育推進委員会



## < 中高一貫 進路講話 >

### 粗末にしない、日常の取組を

2月4日（月）4校時目に、広尾高校3年生4名が、広尾中学校の全校生徒に向けて、自身の進路について講話を行いました。決定までに意識して取り組んだことや、普段の勉強についての考え方、また、「学習習慣の大切さ」など中学生で身につけたい能力や考え方など、実感を込め、後輩たちに伝えました。

進学する吉田凜さん（北海道教育大札幌校）は、「今やらなくてはいけないことを一生懸命する。基礎ができていないと勉強は苦勞する。」、西村沙紀さん（日鋼記念看護学校）は、「日々努力する。笑顔や姿勢も大切」、就職する首藤貴大さん（帯広スバル自動車）は、「自分は何をやりたいのか精いっぱい努力して見つける。部活で学んだことも多い。」、飯田沙也茄さん（広尾町役場）は、「負けないこと！新聞やニュースを見るなど、良い習慣をつけ、何気ない日常も粗末にしない」などとアドバイス。最後に生徒を代表し、荒関里巧さんが「とても参考になりました。自分の進路を見据えて勉強に励みたいです。」とあいさつをしました。

#### 『進路講話を聴いて』

広尾中学校3年 大溝 彩華

今回の中高一貫進路講話を聞いて、私が感じたことは、普段からの勉強や姿勢、礼儀が大切だということです。

「大学入試などの面接では普段の礼儀や話し言葉が出る」と、高校生の講師は言っていました。それは実際に自分の高校入試の面接練習でも感じたし、練習を始めてからでは遅いと身をもって感じました。なので、普段からの礼儀、話し言葉、姿勢が大事だという風に感じました。

また、高校では中学校の勉強が基礎となり、基礎がしっかりできていないと高校での勉強も大変だということも学んだので、しっかり勉強をしておこうと思いました。

そして、自分がなりたい仕事などを見つけるために、色々な体験をしようと思いました。

## SCC (中高乗り入れ授業の記録)

～前号以降に行われた SCC 授業について、ご紹介いたします～

### 国語

12月12日(水) 広尾中学校

広尾高校2年生が、広尾中学校1年生に、教師役となって古典の授業を行いました。普段は授業を受ける側の高校生が、古典の作品について楽しく伝えるために、紙芝居や劇などを行いました。先生役となった高校生は、紹介する作品について熱演を見せて、中学生に古典の面白さを伝えていました。

中学生は、手作りの紙芝居に引き込まれたり、劇の熱演に笑い声が溢れたりするなど、楽しみながら作品の魅力に触れて、古典の面白みを感じた一時間となりました。



### 社会

12月10日(月) 広尾中学校



広尾中学校2年生を対象に、広尾高校の中野俊光教諭による北方領土の学習を行いました。ビザなし交流で北方領土に渡るといふ貴重な経験がある中野教諭が、実際に北方領土を訪問して感じたことを学ぶ時間となっています。実体験を聞いた生徒たちは、北方領土を身近に感じるとともに、グローバルな視点をもって、北方領土についての理解を深めることができました。この授業は、SCCの取組が始まって以来、中野教諭によって毎年行われています。

### 体育

1月17日(木) 広尾高校

生徒コーチ型の授業(高校生が中学生に教える)として、広尾高校3年生(「生涯スポーツ」選択者)と、広尾中学校2年生全員による、器械運動の授業を行いました。

大きな声を出し合う体づくり運動により、生徒間の緊張をほぐし、鉄棒やマット運動では高校生のアドバイスや補助を交えながら、中学生は自分に合った技を意欲的に練習していました。異年齢からの支援を受け、生徒同士の教え合いを通じ、「学び合い」の姿勢が見られた授業でした。



1月17日（木）広尾高校

## 家庭科

「開町150周年記念弁当」の完成レシピの調理実習を広尾高校3年生（ライフデザイン選択者）と、広尾中学校1年生全員が行いました。昨年度のS C Cで考案したレシピを、今年度は実際に調理し、地元の食材への理解と地産地消への意識を高める目的で実施されました。

グループごとに調理と弁当のパッケージをデザインし、広尾町ならではのお弁当が完成しました。中学1年生は、これが中学入学後の初めての調理実習だったので、高校生の指示も的確で、授業時間内で交流しながら地元の食材への理解を深めることができました。



# 中高一貫 生徒会交流



「理想の人物像」って何かな！？

中高の生徒会役員が集まり、生徒会活動の交流を通じて、リーダーとしての資質の向上や生徒会活動の活性化を図ることを目的に、中高生徒会交流が広尾高校にて全2回に渡って行われました。広尾中学校・広尾高校とそれぞれの生徒会活動を振り返り、それぞれの学校の課題を見出し、それぞれの学校で「理想とする人物像」を考案していこうという話し合いになりました。

### 《参加者の声》

今年度の中高一貫生徒会交流は、例年以上に内容の濃い活動になったと感じています。今年度は「日常生活の改善」をテーマに中高の生徒会で話し合いましたが、今回このテーマについて考えることが出来たことは、中学校・高校とお互いにとってとても良い機会になったと思います。何気なく過ごしている日常も社会を意識して過ごすことで、実際に就職した時には、恥ずかしくない礼儀正しい人物になると思います。また、高校生だけでは思い浮かばなかった中学生の新鮮な意見を取り入れることが出来たので、より良い意見交換へと繋がられました。

この活動は、学校全体を変えることが出来る取り組みの一つだと思うので、今後はより一層中学校と高校が進展していけるような活動にしていきたいと感じました。

（広尾高校生徒会長 花久 嵐）

今回の生徒会交流では、各学校の生徒会の活動を交流し、また学校をより良くするために「理想の人物像」という目標を立て、それに近づけるよう意識して生活をするなどの話し合いをしました。二日間という短い間で、高校生の皆さんとより良い学校づくりのためにたくさんの意見を交換することができ、とても良い経験ができました。

（広尾中学校生徒会長 目黒 綾音）

平成 30 年度 北海道広尾高等学校 3 学年の進路決定状況

(平成 31 年 3 月 14 日現在 3 年生在籍 男子:22 名 女子:21 名 計:43 名)

<就職志望者 21 名> 決定者数: 男子 11 名 女子 10 名 計 21 名

進路区分	希望者数			決定者数			内 定 先
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
就職町内	6	3	3	6	3	3	株式会社畑下組、広尾漁業協同組合 (2 名) 十勝海運株式会社 (2 名)、株式会社ホリタ
就職管内	7	3	4	7	3	4	帯広スバル自動車株式会社、帯広至心寮 株式会社アーニストホーム、株式会社環境テクノス 株式会社ルーキーファーム、株式会社観月苑 株式会社エフビーエス
就職道内	4	2	2	4	2	2	日本郵便株式会社、渋田海運株式会社、 日高信用金庫、株式会社メディカルシャトー
就職道外	0	0	0	0	0	0	
公務員	4	3	1	4	3	1	広尾町職員、自衛隊候補生 (3 名)
就職者合計	21	11	10	21	11	10	内定 100% (昨年同時期 92.3%)

<進学志望者 22 名> 決定者数: 男子 11 名 女子 11 名 計 22 名

進路区分	希望者数			決定者数			決 定 先
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
4 大国公立(文系)	4	3	1	3	2	1	北海道教育大学札幌校、釧路公立大学 (2 名)
4 大国公立(理系)	7	4	3	1	1	0	公立はこだて未来大学
4 大私立(文系)	1	1	0	3	3	0	北海道情報大学 (2 名)、北海学園大学
4 大私立(理系)	1	0	1	3	1	2	天使大学、札幌保健医療大学、星槎道都大学
短 大 国 公 立	0	0	0	0	0	0	
短 大 私 立	0	0	0	0	0	0	
看護学校	2	0	2	4	0	4	日鋼記念看護学校、JA 旭川厚生看護学校、勤医協札幌 看護専門学校、北海道看護専門学校
専門・専修学校	7	3	4	8	4	4	光塩調理製菓専門学校、札幌医療秘書福祉専門学校、 北海道情報専門学校、大原法律公務員専門学校、三幸 学園こども専門学校、札幌歯科学院専門学校、吉田学 園医療歯科専門学校、北海道職業能力開発大学校
進学者合計	22	11	11	22	11	11	合格 100% (昨年同時期 95.8%)

<全 体>

	在籍者数			決定者数			進路決定率
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
合 計	43	22	21	43	22	21	進路決定 100% (昨年同時期 94.6%)

【 編 集 後 記 】

今年度の「中高一貫教育だより」は、これが最後の発行になります。学校生活を生き生きと過ごしている生徒たちの様子が少しでも伝わりましたら幸いです。また中高一貫教育の取組が、町民の皆様にご理解頂けますよう、広報誌の発行に今後も尽力していく所存です。今後ともご愛読くださいますよう、宜しくお願い致します。